



新年あけまして おめでとうございます

校長 橋本 悦明

新しい年が明けました。コロナ禍の中、皆様おそろいで新春を迎えるのも難しかったのではないのでしょうか？旧年中は、本校教育にご支援を賜りましてありがとうございました。心よりお礼を申し上げます。今年も職員一同、立花っ子の力を高めるために一丸となり、コロナに負けず、充実した年にできるよう頑張ってみます。

さて、今年（うしどし）です。干支には守護本尊がついていて、丑年の守護本尊は虚空蔵菩薩（こくうぞうぼさつ）だそうです。宇宙のような無限の知恵と慈悲の心を持つ菩薩様で、人々の願いを叶えるために蔵から知恵や記憶力、知識を取り出して与えてくれるとされています。ただ、願い事を叶えられるのを待つだけでなく、自ら手練り寄せる努力はしていかなければなりません。

私はこの立花小学校の校長としての4年間、子どもたちに「夢」に向かって目標を定め努力していこうという話を度々してきました。自分の夢を叶えた人たちは、全員が『夢を諦めなかった人』です。ただ、ほとんどの人が、夢を持ちながらも諦めざるを得ない状況となり、実現には至っていません。夢を持っていてもその夢が叶う人は、ほんの一握りなのかも知れません。しかしながら、子どもたちには夢を持ち続けてもらいたいと思います。大きな夢を持ち、それを実現するために、まず今年「何と何をがんばる」「これに挑戦してみる」など、希望に胸を膨らませて、今年1年を自分なりに頑張りたいと思います。

昨年末2学期の終業式で、幾つかの表彰を行いました。その中に6年生の窪田雷音君がいました。彼は6歳からブレイクダンスを習っていて、3年前にも全校朝会で表彰し、ダンスを披露してもらったことがありました。多くの方がご存じのように、ブレイクダンス（ブレイキン）は2024年のパリ五輪で正式種目として認定されました。今回窪田君は、パリ五輪に向けての第1回JOCジュニアオリンピックで優勝という快挙を成し遂げました。本人も言っていました、年齢的に3年後のパリ五輪出場は無理です。が、その次のロサンゼルス五輪は7年後なので、それに向けて努力していくとのことでした。スポーツは怪我の問題等もあり、努力だけでどうこうなるものではない難しい世界です。しかしながら、夢に向かって計画を立て、1歩ずつ確実に進んでいくことは、どの世界でも大切なことです。身近に良いお手本があるというのは、非常に良い影響を受けることができる環境だということです。しっかり生かして、個々の夢に向かって確実に進んでいける年にしていきたいと思います。

さあ、3学期が始まりました。コロナ禍の中でも、まとめの学期として、じっくりと1年を振り返りながら学習を行い、その学年として身につけなければならない学力の定着をしっかりと図っていきたくと考えています。

保護者、地域の皆様、今年も立花小学校をよろしくお願いいたします。

1月の行事予定

8	金	始業式 大掃除
11	月	成人の日
12	火	身体測定（すみれ）
13	水	身体測定（1年）
14	木	給食開始 木曜日6校時授業日（3～6年） 身体測定（2年）
15	金	書き初め展（～21日：児童のみ鑑賞） 防災訓練（児童のみ）
18	月	委員会活動 身体測定（3年） 定時退勤日
19	火	身体計測（4年）
20	水	身体計測（5年）
21	木	身体計測（6年）
25	月	クラブ活動（3年見学） 給食週間 定時退勤日
26	火	TV集会（給食）
28	木	木曜日6校時授業日（3～6年）
29	金	

〈 2月の主な行事 〉

- 12日(金) 入学説明会
- 19日(金) 参観・懇談（Aグループ）
- 26日(金) 参観・懇談（Bグループ）

【「1. 17は忘れない」

阪神・淡路大震災から26年】

平成7年1月17日早朝に起こった阪神・淡路大震災から丸26年になり、阪神・淡路大震災の経験と教訓を継承し、将来の地震災害等に備えることを目的とし、毎年この時期に地域防災訓練を行っていましたが、新型コロナウイルスの予防のため、今年の防災訓練は児童のみで行います。

この機会にご家庭でも日々の備えの大切さ、緊急時の連絡方法や避難場所、持ち出す荷物などについて、話し合っただけだと思えます。

【オープンスクール中止について】

1月15日（金）にオープンスクールを予定しておりましたが、今般のコロナ感染症拡大の影響に伴い、中止とさせていただきます。何卒、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

【生徒指導だより】

お子様がお年玉をいくらもらっているか把握しておられるでしょうか。小さいときからお金のつかい方や金銭感覚を養うことは大切です。

しかし、子どもたちだけで買い食いをしたり、自由にお金をつかったりすることは好ましくありません。保護者の管理のもとで、お金のつかい方を身につけさせることが重要です。お金をつかう時、それが必要かどうかを考え、時には我慢することも学ばせなければいけません。そして、「決められた金額の中で買い物をする」「買ったもの、つかった金額、残った金額をおうちの人に報告する」「小づかい帳をつける」ことが、金銭感覚を育てることにつながります。

また、校区外に子どもだけで行くと、思わぬトラブルに巻き込まれることがあります。子どもたちが、どこに行ってもどんな遊びをしているか、もう一度ご家庭で把握しておいてください。

丑

